

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

2021/11/1

No.684

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝

Shinran

500

ROKUJIJO



別院境内の色付く銀杏とイロハモミジ（撮影者 矢裂 隆司）

武宮 信勝

法要・行事予定

11月		
4日	達如上人御祥月御命日	(8時)
12日	闍如上人御逮夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
21日	本山御正忌団体参拝	(8時出発)
24日	顕如上人御祥月御命日	(8時)
	定例法話	(13時30分)
	桑田 和貴師 (第12組 円照寺)	
	「私を照らし出してくれるもの」	
27日	宗祖聖人御正忌御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御正忌晨朝	(8時)
	宗祖聖人御正忌日中	
	法話：輪番 武宮 信勝	(10時)



12月		
12日	闍如上人御逮夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
24日	すす払い同朋の会	(9時30分)
27日	宗祖聖人御命日御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中	(8時)
	法話：輪番 武宮 信勝	
31日	歳末昏時勤行	(15時)



※ 諸行事につきましては、感染状況をみて判断致します。

特別永代経志納

- 一、法名 成徳院釋靜英
俗名 尾上 英淑
 - 二、法名 妙徳院釋靜貞
俗名 尾上 貞
 - 三、法名 敬徳院釋靜圭
俗名 尾上 圭一
- 願人 尾上 直司
- 右記の通りご進納有難く
ご披露致します。
- 別院崇敬護持のため、大切に使用させていただきます。

今月の伝道掲示板

一本の草も
生きねば
ならぬ
使命を
持っている
——藤原 鉄乗——

天満別院ではコロナ禍での報恩講が勤務された。
緊急事態宣言の解除がどのような形になるか間際まで分からず苦慮したが、報恩講へお参りされた一人一人が様々なご縁を通して身を運ばれ、ご法要に出遇われた。
天満別院の報恩講が勤まると大阪の各別院、自坊、御本山等多くの寺院で報恩講が勤まります。各地で勤まる報恩講を通して親鸞聖人の遺徳を偲びたい。

(Y)

好天に恵まれつつ、ご本山からの御参向・教区内別院の御拝礼をいただき、念願の音楽法要は中止が悔やまれつつも、親鸞忌760年の報恩講が円成いたしました。コロナ感染対策注視はもとより、参拝者の方々も検温・消毒・マスク姿とご協力をいただきましたこと心から感謝申し上げます。特に今年は別院教化委員会青年部会の諸氏が「天満別院の歩み」・明治から現代へと、称してパネル展と小冊子の刊行に一ヶ月かけて汗を流していただきました。この冊子は崇敬寺院を始め、別院全御門徒へ配布させていただきます。若い世代の人々に別院への関心が深まってくれることを唯々願うばかりです。

ようようと 寢床に入りて 祖師偲ぶ

この詩は、あるお寺の坊守さんがしたためた詩であると思います。報恩講中は準備も含め、日程に追われ落ち着いて座っている暇がない日々が続きます。ご講師のご法話聴聞もそぞろになり、つい聞き逃しになってしまふ。せわしなかった報恩講が終了し、やっと一息した時、宗祖親鸞聖人の御苦勞がしみじみと偲ばれてくるという心境が伝わってきます。

私も、大江憲成先生が「後生の一大事」を明らかにしましょうと力強く呼びかけられた願いを今一度、真実信心の目覚めを新たに、憶念させてもらわねばと痛感しています。

急に朝夕が冷え込み、初冠雪も聞かれ、秋の深まりを感じる昨今、

いずこより 我呼ぶ声ぞ 秋の暮

——句仏上人——

阿弥陀仏が「我が国に生まれてこい」と、この私に一層深く改悔懺悔のころをおこして「帰命せよ」と叫ばれています。

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石やさん

株式会社 太田石材店

～仏事その他何なりとお気軽にご相談ください～

フリーダイヤル 0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078



ホームページ委員会による LIVE 配信



御参向結願日中（ご満座） お勤めの様子



青年部会制作 パネル展の様子



別院婦人部長として永年ご尽力された幸田 眞須美さまに感謝状・記念品の贈呈。



『御伝鈔』拝読～今年は上巻～



教区内輪番の御拝礼



野間堂衆による『御俗抄』拝読

（報恩講特集）如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし、……骨を砕きても謝すべし。

報恩講は、宗祖親鸞聖人をはじめお念佛の教えに生かされた先達に
憶いをいたしそのご恩徳に深謝し報いる法要です。

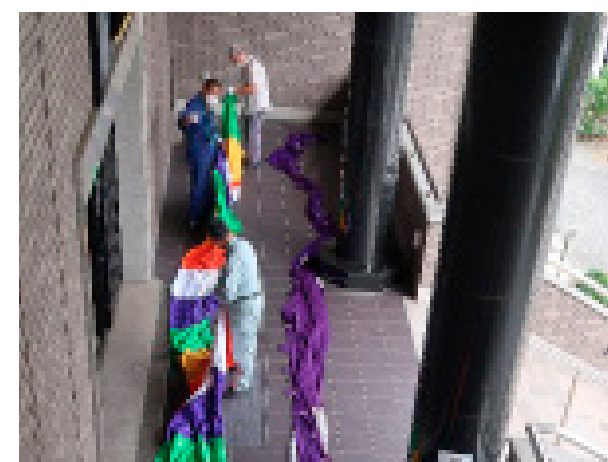
人々が寄り合いお斎（今年は中止）をいただくなど共にふれあいつつ、
聞法する場として、今日まで脈々と勤められてきました。

別院において、一年を通じて最も大切な御仏事でありますので、広く
皆々様に知っていただく意味で写真を通じてご報告いたします。



2021.10.3～10.5

天満別院 報恩講



五色・紫幕取り付け様子



ご門徒の皆さんとおみがき



大江 憲成 先生によるご法話